オニュクス

使用器具
評価ポイント △

臓器内を潜伏し、自由に動き回るスティグマ。潜伏してから一定時間で臓器から飛び出し、裂傷を周囲に発生させる。そのため、素早く潜伏先を発見し、メスで本体を露出させ、血清を投与する必要がある。一度に投与する血清は少量でいい。一定ダメージを与えるとダミーが発生する。本体はコアに4つの点があるのに対して、ダミーの点は3つ。間違えてダミーにメスを入れると本体が裂傷を生み出すため、ミスは許されない。さらにエピソードによっては毛細血管を発生させるため、場所を特定するのが困難になることもある。

[手順]

- ❶ スキャナ　潜伏したオニュクスの場所を特定する
- ❷ メス　切開してコアを露出させる
- ❸ 注射　コアに血清を投与

エコーでオニュクスの位置を素早く特定し、コアにメスを入れて、本体を臓器外に露出させよう。

露出した本体に新薬を投与。量は少量で構わないので、素早く注射をオニュクスに打とう。

ブラキオン

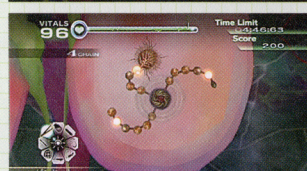
使用器具
評価ポイント

コアから伸びた触手が特徴のスティグマ。ブラキオンは触手の爪をすべて除去すると触手が再配置され、爪の除去作業を繰り返して消滅させれば処置完了となる。

触手を移動する光が爪の部分に進むとバイタルが低下するため、あらかじめ触手の腕をピンセットでつまんでおく必要がある。つまんだ部分に光が進むと腕は復活して光はコアに戻るので、そのあいだに爪の除去を行なおう。除去法は、新薬を爪に投与してメスで爪を切り離し、その爪を回収トレイに乗せれば、1本の触手の処置が終了。ただし、爪があった部分に光が進むと、すべての爪が復活してしまう。しかし爪を切り離した状態なら、光が進んでもその爪がくっつくだけで、他の爪の復活はない。つまり、腕をつぶしつつ、腕の短い触手から爪を切り離していき、最後の爪を切り離したら、光に注意して爪を一気に回収すれば被害は少ない。とはいえ、この方法は回収作業が慌しい。難しいと思うのなら、ダメージを受ける可能性はあるが、腕をつぶしつつ、腕の長い側から爪を切り離してすぐに回収するパターンで処置してもいい。その場合、爪を回収した触手の光の位置をとくに注意しつつ、残りの爪の回収を進めよう。

[手順]

- ❶ 注射　爪の部分に新薬を投与
- ❷ メス　爪と腕を切り離す
- ❸ ピンセット　切り離した爪をトレイへ運ぶ
- — ピンセット　触手をつぶす

爪にいちばん近い場所をつまめば、光の移動距離が多くなる分、爪にまで到達する時間を稼げる。

腕を光と一緒につぶすと、光はコアに戻り、腕はつぶしたままになる。2回つまんだ状態と同じだ。

すべての爪を切り離してから回収する場合は、腕の短い側から切り離しておくと被害は少なくなる。

1つ1つ爪を回収するのなら、爪を復活させないためにも、腕の長い側から処置していこう。

カルディア

使用器具　評価ポイント △

心臓に生息する究極のスティグマ。カルディアは2段階の処置が必要で、まずは心臓に張り付いた膜をすべて回収する必要がある。膜はヒールゼリーで軟化させ、メスで四隅の点を切開すれば摘出可能だが、カルディアがその膜の上にいると回収はできない。また、赤色の膜が存在し、カルディアがその膜に移動するとバイタルの上限が下がってしまう。赤い膜は発生次第、素早く回収する必要がある。

3面分の膜を除去すると本戦に突入。ここでは本体にレーザーを照射してダメージを与えるのだが、カルディアは数個の裂傷、血溜まりが発生した裂傷、波紋に触れると爆発する爆弾のどれかを生み出すため、それらの処置が優先になる。爆弾を素早く回収できれば、カルディアは一定時間動きを止めているので、レーザー照射かバイタル回復を行なおう。一定ダメージを与えると、カルディアは最後の攻撃をしてくる。ここでは超執刀を発動させて対処しよう。

[手順]

- ❶ ヒールゼリー　膜に塗る
- ❷ メス　ガイドラインに沿って膜を切り離す
- ❸ ピンセット　切り離した膜をトレイへ運ぶ
- ❹ レーザー　照射し続けてダメージを与える
- ❺ 超執刀　カルディアの最終攻撃を防ぐ
- — ピンセット　地雷を摘出する

赤い膜を優先的に処置。Normalでは、残りの膜が10枚以下になると赤い膜は出現しない。

カルディアは爆弾の配置後に波紋を放つ。爆弾に波紋が触れると破裂するので、すぐに回収。

カルディアは次々と攻撃を仕掛けてくるが、素早く処置してバイタルは50以上に保っておきたい。

キリアキ

使用器具
評価ポイント

臓器内に潜み、裂傷を生み出すギルス。エコーで探知したあとにメスで露出させ、レーザー照射で消滅させよう。キリアキは直線的に移動するので、特定後に移動先で待ち構えておき、本体が来たときにメスで切開すれば、露出させやすい。キリアキ露出後はレーザーを2回照射すれば焼却完了。露出時にメスの切開口とキリアキが生み出した裂傷が発生するので処置を忘れずに。なお、大きいサイズのキリアキ・マザークラスは、エコー探知とメスでの露出を何度か繰り返し、レーザー照射を続ければ倒すことができる。

[手順]

- ❶ スキャナ　潜伏したキリアキの場所を特定する
- ❷ メス　切開してキリアキを切り出す
- ❸ レーザー　キリアキにダメージを与える
- ❹ 針と糸　出現時に発生した傷口を縫う
- ❺ ヒールゼリー　メスの切開口に塗る

キリアキを露出させたら、傷よりも本体の処置を優先し、レーザーを2回発射して消滅させよう。

キリアキ・マザークラスは臓器内に発生すると3本の裂傷を生み出す。この傷を見たら警戒しよう。